



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社 サニックス

上場取引所 東 福

コード番号 4651 URL <https://sanix.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宗政 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 企画本部長 兼 管理本部長 兼 経営企画部長 (氏名) 井上 公三

TEL 092-436-8882

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	11,603	1.1	623	499.7	600	287.8	436	291.5
2019年3月期第1四半期	11,733	3.0	103	73.8	154	47.2	111	46.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 399百万円 (336.1%) 2019年3月期第1四半期 91百万円 (58.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	9.12	
2019年3月期第1四半期	2.33	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	30,003	4,593	15.2	95.47
2019年3月期	31,009	4,193	13.4	87.08

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 4,563百万円 2019年3月期 4,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2020年3月期	0.00				
2020年3月期(予想)		0.00	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,464	0.1	988	43.5	935	35.7	745	283.7	15.58
通期	50,900	0.4	1,910	55.9	1,810	53.0	1,370	470.5	28.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	48,919,396 株	2019年3月期	48,919,396 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	1,114,173 株	2019年3月期	1,114,173 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	47,805,223 株	2019年3月期1Q	47,805,473 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については(添付資料)2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	10
部門別連結売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～6月30日)におけるわが国経済は、海外経済の減速による影響がみられるものの、企業収益の好況を背景に雇用・所得環境が着実に改善したことから個人消費は増加傾向が見られる等、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは既存事業を基盤とし安定的な収益構造を構築することを優先しつつ、新たな事業・サービスを展開することでさらなる成長を目指す「中期経営計画(2019年度～2021年度)」に基づき、新たに「エネルギー事業本部」を新設し5事業部門体制とする組織改編を行い事業の幅を拡大するとともに、各事業において安定的な収益基盤の構築を図ってまいりました。

売上高につきましては、前中期経営計画において人員等経営資源の配分を見直し事業規模の拡大を進めたことが寄与し、HS事業部門、ES事業部門がそれぞれ増収となったほか、廃プラスチックの受入物件の精査により環境資源開発事業部門が増収となりました。その一方で、SE事業部門はFIT価格の低下にあわせた太陽光発電システムの販売価格見直しにより、またエネルギー事業部門は主に高圧供給先の件数減少等によりそれぞれ減収となりました。この結果、グループ全体の売上高は11,603百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

利益につきましては、増収を背景としてHS事業部門、及び環境資源開発事業部門はそれぞれ増益となり、減収となったSE事業部門でも材料費をはじめとするコスト削減により増益となりました。この結果、グループ全体の損益は、623百万円の営業利益(前年同期比499.7%増)、600百万円の経常利益(前年同期比287.8%増)、436百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益(前年同期比291.5%増)となりました。

当第1四半期連結累計期間の各セグメントの経営成績は次のとおりであります。なお、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントの見直しを行い、環境資源開発事業部門からエネルギー事業部門を新設いたしました。前年同期比較はセグメント見直し後の体制に組み替えて記載しております。

①SE(ソーラー・エンジニアリング)事業部門

太陽光市場の縮小幅は徐々に減少しつつありますが、FIT価格の低下に対応した販売価格の見直しの影響で「太陽光発電システム」が減収となりました。この結果、売上高は2,355百万円(前年同期比15.3%減)となりました。

営業損益は、減収による影響が大きいものの、HS事業部門への人員の異動等による経費削減、及び材料原価の低減等を推進したことにより、20百万円の営業利益(前年同期は88百万円の営業損失)となりました。

②HS(ホーム・サンテーション)事業部門

HS事業部門の事業規模拡大を目的に、異動及び採用により人員増を図り、一般家屋に係るメンテナンスについて提案をきめ細かく行えるよう営業及び施工体制を強化してまいりました。「白蟻防除施工」が前年同期比10.8%増、「床下・天井裏換気システム」が同35.4%増となり、この結果、売上高は2,948百万円(前年同期比8.7%増)となりました。

営業損益は、人員増により人件費等のコストが増加したものの、増収幅が大きかったことや、施工効率の改善や外注加工費率の低下などにより、655百万円の営業利益(前年同期比13.0%増)となりました。

③ES(エスタブリッシュメント・サンテーション)事業部門

ES事業部門の事業規模拡大を目的に、異動及び採用により人員増を図り、ビル・マンション等のオーナー及び管理会社等提携先との関係を強化してまいりました。主力商品である「防錆機器取付施工(商品名:ドールマンショック)」が前年同期比21.6%増、「給排水設備補修」が前年同期比42.5%増となりました。この結果、売上高は487百万円(前年同期比17.4%増)となりました。

営業損益は、人員増による人件費等のコスト増加が増収による利益増加の効果を上回ったため、40百万円の営業利益(前年同期比22.5%減)となりました。

④環境資源開発事業部門

廃プラスチック類の受入量が減少しましたが受入物件の精査により、「プラスチック燃料」が前年同期比15.3%増、「有機廃液処理」が受入量の増加により前年同期比16.1%増となりました。この結果、売上高は4,093百万円(前年同期比12.2%増)となりました。

営業損益は、廃プラスチック類及び有機廃液処理における受入物件の精査のほか、コスト精査による原価低減等により、867百万円の営業利益(前年同期比150.4%増)となりました。

⑤エネルギー事業部門

高圧契約件数が減少したこと等から電力小売量が減少したため、売上高は2,342百万円(前年同期比14.4%減)となりました。

営業損益は、売上高減少による影響が大きく、41百万円の営業損失(前年同期は93百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は30,003百万円となり、前連結会計年度末比で1,005百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金が528百万円、受取手形及び売掛金が1,039百万円減少したためであります。負債合計は25,410百万円となり、前連結会計年度末比で1,405百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金が392百万円、短期借入金が843百万円、未払金が758百万円減少したためであります。純資産合計は4,593百万円となり、前連結会計年度末比で399百万円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益436百万円を計上したためであります。

その結果、自己資本比率については、前連結会計年度末13.4%に対し、当第1四半期連結会計期間末は15.2%となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,238	4,709
受取手形及び売掛金	6,010	4,970
商品及び製品	1,019	450
未成工事支出金	122	209
原材料及び貯蔵品	3,546	3,691
その他	975	1,027
貸倒引当金	△299	△287
流動資産合計	16,613	14,773
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,901	1,854
機械装置及び運搬具(純額)	1,355	1,513
土地	7,811	7,828
その他(純額)	989	1,739
有形固定資産合計	12,057	12,936
無形固定資産	262	267
投資その他の資産	2,074	2,026
固定資産合計	14,395	15,230
資産合計	31,009	30,003
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,188	3,795
短期借入金	12,297	11,454
1年内返済予定の長期借入金	143	143
未払金	3,930	3,172
未払法人税等	462	625
賞与引当金	4	94
再資源化費用等引当金	12	11
その他	2,488	2,666
流動負債合計	23,529	21,964
固定負債		
長期借入金	210	177
役員退職慰労引当金	9	9
処分場閉鎖費用引当金	603	607
退職給付に係る負債	1,642	1,653
その他	819	998
固定負債合計	3,285	3,446
負債合計	26,815	25,410

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,041	14,041
資本剰余金	1	1
利益剰余金	△8,357	△7,921
自己株式	△1,481	△1,481
株主資本合計	4,204	4,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60	50
為替換算調整勘定	△17	△63
退職給付に係る調整累計額	△85	△64
その他の包括利益累計額合計	△42	△77
非支配株主持分	31	29
純資産合計	4,193	4,593
負債純資産合計	31,009	30,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	11,733	11,603
売上原価	8,193	7,339
売上総利益	3,540	4,263
販売費及び一般管理費	3,436	3,640
営業利益	103	623
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	1	1
受取地代家賃	16	15
為替差益	11	1
補助金収入	0	—
受取補償金	70	—
その他	6	12
営業外収益合計	107	33
営業外費用		
支払利息	47	50
その他	8	5
営業外費用合計	56	56
経常利益	154	600
税金等調整前四半期純利益	154	600
法人税、住民税及び事業税	85	136
法人税等調整額	△42	29
法人税等合計	43	165
四半期純利益	111	434
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	111	436

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	111	434
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△10
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△13	△46
退職給付に係る調整額	0	21
その他の包括利益合計	△19	△34
四半期包括利益	91	399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	91	401
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	S E 事業 部門	H S 事業 部門	E S 事業 部門	環境資源開発 事業部門	エネルギー 事業部門	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,779	2,711	415	3,091	2,735	11,733	—	11,733
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	556	—	556	△556	—
計	2,779	2,711	415	3,647	2,735	12,289	△556	11,733
セグメント利益又は損失(△)	△88	580	52	346	93	984	△880	103

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用880百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	S E 事業 部門	H S 事業 部門	E S 事業 部門	環境資源開発 事業部門	エネルギー 事業部門	合計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,355	2,948	487	3,469	2,342	11,603	—	11,603
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	624	—	624	△624	—
計	2,355	2,948	487	4,093	2,342	12,227	△624	11,603
セグメント利益又は損失(△)	20	655	40	867	△41	1,542	△919	623

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用919百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、2019年4月1日付で実施した組織変更に伴い、「環境資源開発事業部門」に含まれていた新電力事業及び2019年4月1日付で新設したエネルギー事業開発部を「エネルギー事業部門」として表示するセグメント区分の変更を行っております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. その他

部門別連結売上高

(単位：百万円)

品目	期別	数量 単位	前第1四半期 連結累計期間 自2018年4月1日 至2018年6月30日		当第1四半期 連結累計期間 自2019年4月1日 至2019年6月30日		比較増減	
			数量	金額	数量	金額	数量	金額
太陽光発電システム		kW	14,099	2,602	13,650	2,262	△449	△339
太陽光発電システム卸販売		—	—	114	—	61	—	△52
その他		—	—	62	—	31	—	△31
SE事業部門計		—	—	2,779	—	2,355	—	△424
白蟻防除施工		千坪	165	925	174	1,024	8	99
床下・天井裏換気システム		—	—	411	—	557	—	145
基礎補修・家屋補強工事		軒	1,553	571	1,276	517	△277	△54
その他		—	—	803	—	848	—	45
HS事業部門計		—	—	2,711	—	2,948	—	236
防錆機器取付施工		本	191	206	230	250	39	44
建物給排水補修施工		—	—	75	—	108	—	32
建物防水塗装補修施工		—	—	34	—	32	—	△2
その他		—	—	98	—	96	—	△2
ES事業部門計		—	—	415	—	487	—	72
プラスチック燃料		t	84,496	2,052	74,909	2,367	△9,586	315
発電所売上		—	—	817	—	868	—	50
有機廃液処理		t	23,396	409	27,375	475	3,979	65
埋立処理		—	—	203	—	248	—	44
その他		—	—	164	—	134	—	△30
環境資源開発事業部門計		—	—	3,647	—	4,093	—	446
売電収入		—	—	2,735	—	2,338	—	△396
その他		—	—	—	—	3	—	3
エネルギー事業部門計		—	—	2,735	—	2,342	—	△393
セグメント間の内部売上高調整額		—	—	△556	—	△624	—	△67
売上高計		—	—	11,733	—	11,603	—	△130

(注) 取扱品目が多岐にわたり数量の把握が困難なものは、記載を省略しております。